

三枚洲に生息するハマグリについて

昨年もお知らせしましたが、桁網で調査した今年のハマグリを、昨年の結果と比較してみました(図)。ハマグリは殻長組成は、令和3年の平均殻長が33.4mm(最小7.5mm～最大88.4mm、N=281)、令和4年の平均殻長は48.4mm(最小15.9mm～最大87.6mm、N=125)でした。昨年と比べると、殻長が44～48mmサイズ(3～4年)のものが多くみられ、大型の個体の割合が高く成長した様子が伺えました。また、今年も小型から大型のサイズものまで生息しており、資源の維持、加入は続いているものと思われます。



写真 三枚洲

三枚洲の干潟は潮干狩りや海辺のレクリエーション場として都民に親しまれています。当協会では、三枚洲において都内の内湾6漁協の協力を得て、海底耕耘、アサリ放流などの事業を今後も継続して行い、江戸前ハマグリを増加、三枚洲干潟の環境改善を図っていきます。

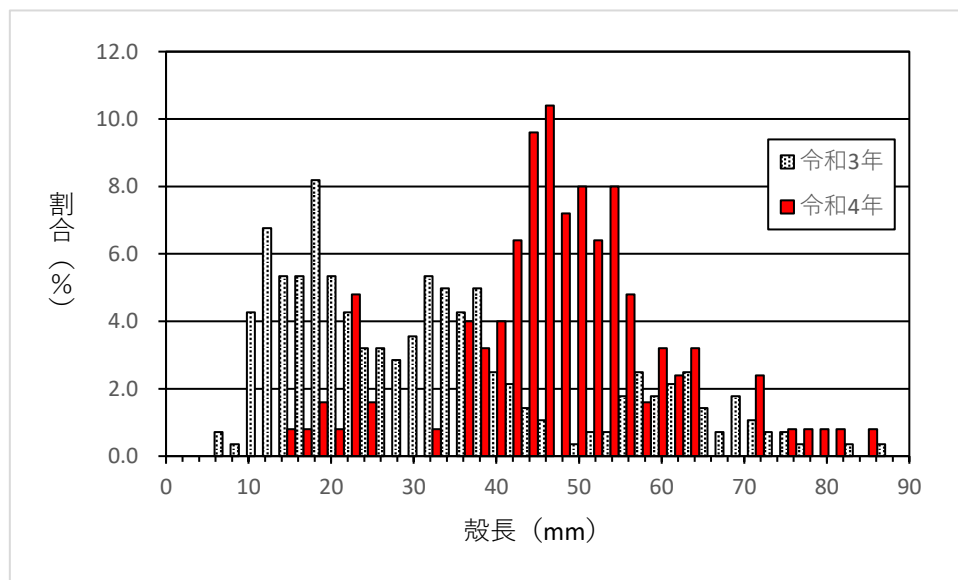


図 三枚洲のハマグリ殻長組成